

第6学年（さくら学年）学年経営の方針

宮城教育大学附属小学校

教育目標

心も体もたくましく、しかも、しなやかな子供

【目指す資質・能力】

言語力 問題解決力 活用力 表現力 調整力

高め合う子供

6年生で目指す子供像と到達のめやす

生命を大切にし、心身の健康や安全を考へながら、進んで体を鍛える子供

- 生命の尊さを知り、自他の安全に努めることができる。
- 自分の体力を知り、めあてをもって進んで運動することができる。

友達や家族、自然、ものを大切に、思いやりの心をもって生活する子供

- 生命の尊さを知り、自他の安全に努めることができる。
- 自分の体力を知り、めあてをもって進んで運動することができる。

課題意識をもって、主体的に学習に取り組む子供

- 生命の尊さを知り、自他の安全に努めることができる。
- 自分の体力を知り、めあてをもって進んで運動することができる。

自分の役割や責任を自覚し、協力し合って活動に取り組む子供

- 生命の尊さを知り、自他の安全に努めることができる。
- 自分の体力を知り、めあてをもって進んで運動することができる。

指導の方向

健康・安全を考へ、進んで運動に取り組む態度の育成

- ◎具体的なめあてをもたせ、自主的に運動に取り組ませる
- ・健康診断や体力・運動能力調査などの結果を活用させたり保健の学習と関連させたりしながら、生命の尊さや心身の健康、安全について考えることができるようにする。
- ・日常の継続的な運動や運動会、陸上記録会などの行事を通して、めあてをもって進んで運動に取り組ませ、体力を向上させることができるようにする。

優しさの分かる豊かな心の育成

- ◎自他のよさを認め合えるような場と雰囲気をつくる
- ・朝や帰りの会、学年集会などで、自他の長所や努力、向上点を認め合わせることで、一人一人のよさに気付いたり、互いの見方や考え方を尊重したりできるようにする。
- ・学校のきまりを遵守したり、相手や場所、時間帯を考慮した挨拶をしたりするなど、最高学年にふさわしい態度で生活することができるようにする。

課題意識をもち、進んで学習しようとする態度の育成

- ◎自分の課題の解決に向け、見通しをもって学習に取り組ませる
- ・各教科における学習の進め方を指導し、主体的に学習に取り組むことができるようにする。
- ・自他の考えを練り合う場面などを積極的に設け、互いの考えを生かして課題を解決することができるようにする。

友達と協力し、誠意を持って行動する態度の育成

- ◎自分の役割を自覚し、進んで働く喜びを味わわせる
- ・委員会活動やたてわり活動、クラブ活動などの児童会活動を通して、リーダーとして働くことの大切さと喜びを感じさせる。
- ・係や当番、グループ活動などを通して、協力することの大切さや、最後まで責任をもって働くことの大切さに気付き実践することができるようにする。

第6学年 学級懇談会資料

令和3年4月13日(火)

最高学年として、「共に高め合う」気持ちを大切に、成長し合える学年・学級を目指していきます。子供たちが充実した学校生活を送れるよう、保護者の皆様と共に進んでいきたいと思っております。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



【健康】生命を大切にし、健康や安全に気を付け、 進んで体を鍛える子供



- 日常生活と家庭科・保健の学習を関連付けながら、食事、運動、睡眠病気の予防など、健康に生活するために大切なことに気付かせ、実践していこうとする姿勢を身に付けさせる。
(家庭科・保健の学習、体力・運動能力調査や健康診断の結果)
- 体育の学習や体育的行事では、一人一人に具体的なめあてをもたせ、根気強く取り組めるよう励ますことで、達成感を味わわせていく。
(体育の学習、運動会、陸上記録会)
- 朝の遊びの時間や体育の時間に様々な運動や遊びに取り組みさせることで、体を動かすことの楽しさを味わわせながら体力の向上を図れるようにする。
(運動や遊びの紹介)

【生活】相手の気持ちや立場を理解し、 思いやりの心を持って生活する子供



- 困っている友達を励ましたり、自由に意見や考えを言い合ったりできる温かい雰囲気作りに努め、相手の立場を考えた関わり方ができるようにしていく。
(授業中の声掛け、話し合い活動)
- 挨拶や言葉遣い、登下校の仕方や廊下歩行など、校舎内外での生活のマナーについて丁寧に指導していく。また、時と場をわきまえた行動を心掛けることができるようにする。
(道徳の学習、挨拶の励行)
- 学校や学級の決まりの意義について考え、自分の生活を見直していくことで、最高学年としてふさわしい姿で生活できるよう指導していく。
(学級活動、日常の声掛け)

高め合う子ども



【学習】課題意識をもって、 意欲的に学習に取り組む子供

- 「なぜ」「どうして」という子供の疑問を大切に、子供たちが間違えることや失敗することを恐れず、問題解決に取り組んでいけるような授業づくりを目指していく。
(日々の授業)
- 相手の考えを正しく聞き取り理解したり、自分の考えと比べながら聞いたりすることの大切さについて指導し、考えを深められるようにしていく。
(日々の授業)
- 学習内容の定着と習熟をねらって、日々の授業や自主学習の取組を大切に、積み上げを図っていくようにする。
(習熟時間の確保・「家庭学習の手引き」の活用)

【活動】自分の役割を自覚し、 みんなのために行動する子供



- 係活動や当番活動は、「自分たちの生活をより良くするためのもの」という意識を育み、責任とやりがいをもって進んで活動に取り組めるようにする。
(係活動、当番活動)
- 委員会活動やたてわり活動では、最高学年としての役割を自覚させて活動に臨ませたり、その振り返りを行ったりすることで、充実感をもたせられるようにする。(たてわりノートを用いた計画、振り返り)
- 運動会や合唱の会などの行事に向けた取り組みを通して、一つの目標に向かって協力しながら取り組むことの大切さを味わわせていく。
(練習への取り組み方、学年・学級での振り返り)